

エコアクション 21

第 17 年次

環境経営レポート

【2023 年 4 月 21 日～2024 年 4 月 20 日】



株式会社 ショーデン

2024 年 4 月 26 日

環境経営方針

環境経営方針と理念

私たちは事業活動を通じて、環境にやさしくありたいと願っています。
企業の社会的責任として地球環境の保全に貢献します。

基本方針

1. 環境関連の法令を守り、環境汚染の予防に努力します。
1. 事業活動を通じて資源とエネルギーの利用効率を高めます。
1. 排出物の減量化とリサイクル化に務め環境負荷を低減します。
1. 化学物質の使用量の削減に努力します。
1. この方針は全社員が周知し、継続し、必要に応じて改善します。

2023 年 4 月 27 日 承認

2011 年 9 月 30 日 改訂

2007 年 2 月 3 日 制定

株式会社 ショーデン

代表取締役 浅野 盛男

事業活動の概要

第 17 年次

(2023 年 4 月 21 日～2024 年 4 月 20 日)

- ① **事業所名** 株式会社 ショーデン
代表取締役 浅野盛男
- ② **所在地** 〒380-0913
長野市川合新田 2110 番地 16
- ③ **環境管理責任者** 代表取締役 浅野盛男
環境管理委員長 営業部長 畠山英明
- ④ **連絡先** 電 話 026-221-3434
F A X 026-221-8022
E-mail shoden.nagano@beach.ocn.ne.jp
U R L <https://www.shoden-nagano.co.jp>
- ⑤ **事業の内容**

顧客が設計した工業部品などの図面により、指定された材質・形状・寸法及び要求された数量を製作・販売する受注生産体制の製造業です。

使用する素材はプラスチックで、その種類は多岐にわたりますが、主要なものは

硬質塩化ビニール	ポリカーボネート
メタアクリル	ポリプロピレン
ポリアセタール	ポリエチレン
硬質ナイロン	ベークライト
テフロン	エポキシ
P E T樹脂	などです。

これらの素材は板・丸棒・パイプの形状です。切断・切削・穴加工・熱加工・ねじ加工・接着溶接などの工程を経て社内で製品化しますが、納期などの調整によっては一部を社外へ加工委託することもあります。

社内の生産工程では樹脂素材の物性を変化させるような化学薬品やガス、或いは薬品による洗浄は行っていません。

表面硬化剤

プラスチックの表面硬化剤のノウハウを持っています。

付着性・表面硬度・膜厚測定・光線透過率・ヘーズ値などを社外の検査機関に検査委託して、優秀な実績を記録しています。硬化剤の製造は現在行っていません。プラスチック表面の硬化以外にもいろいろな用途が期待できます。ご要望があればノウハウの譲渡をいたします。

⑥ 事業規模 (2024 年 4 月 26 日現在)

創 立	1955 年（昭和 30 年 4 月 7 日）
総床面積	753.7 m ²
資本金	3000 万円
保有設備機械	
	マシニングセンタ 5 台
	N C フライス盤 1 台
	N C ルータ 2 台
	C N C ボール盤 1 台
	パネルソー 1 台
	N C 彫刻機 2 台
	プレーナ 3 台
	三次元測定機 1 台

この他、設備機器は多あります。更に詳細は弊社ホームページ
[＜機械設備＞](#)でご覧ください。

⑦ 認証取得

エコアクション 21	(E A 21)
認証登録日	2007 年 9 月 28 日
有効期限	2025 年 9 月 27 日
認証登録の対象活動範囲	全社（全組織・全活動） プラスチック加工業（精密切削加工）
認証番号	0001900

⑧ CMS 管理 R o H S ・ R E A C H などの含有化学物質の適正な管理を、環境活動の一環として継続的に行っています。

関連法規と顧客の要求事項を遵守することを重点項目として、含有化学物質管理を行っています。

⑨ 緑化・飾花活動

限られたスペースではありますが、会社敷地内は清掃・除草活動と共に緑樹と花苗を育てて緑化・美化に努力しています。

環境経営活動の目標値と取組結果と評価

次年度の環境経営目標

当該期間 2023 年 4 月 21 日 ～ 2024 年 4 月 20 日

2024 年 4 月 26 日 作成

当該期間の名称 第 17 年次

社 長	環境管理責任者
	

環境経営目標

目標の設定方法について

二酸化炭素排出量の削減	基準年度比 40% 削減	目標値 : 39.000 kg-CO ₂
プラスチック排出物最終処分量の削減	基準年度比 8% 削減	目標値 : 2.1 ton
可燃ごみの削減	基準年度比 25%削減	目標値 : 0.27 ton
化学物質(薬品等)使用量の削減	基準年度比 50%削減	目標値 : 56.5 kg
水使用量の削減 (上水道)		目標値 : 30.0 m ³
環境意識の向上 事業用地内の美化・緑化への自主参加		

取組結果と評価

1. 二酸化炭素排出量の削減

目標値 : 39.000 kg-CO₂

○ 使用電力量の削減

第 17 年次実績 : 40.235 kg - CO₂

休憩時間の消灯・室内温度設定と各室温計測記録・作業スペースの集約によりエアコンを有効利用。エアールール防止・節電できる生産条件を検討して『節電対応報告書』を継続作成し実行することで相当な使用電力量が節減できたが**目標が達成でなかった。**

CO₂ 排出量の殆どが使用電力量であるため、月次では使用電力量を目安に活動した。

その目標値は 77.000kwh で実績値は 74.577kwh。目標はクリアしている。

中部電力からの購入電力の排出係数は、0.388 として目標値を算出(2023 年中部電力ミライズへ確認済み)したが、集計時点では排出係数が 0.459 になっていたため排出係数が大きく算出した。

○自動車燃料使用量の削減

自動車燃費向上の努力・アイドリングストップ・急加速・急停止の抑止
営業ルートと配送順序の効率化

2. プラスチック最終処分量の削減

目標は達成できた

プラスチック材料の有効活用

プラスチック材料の仕入量の適正化

廃材の分別集積管理・切粉の集積管理により R P F と端材リサイクルを推進。

リサイクルを優先し分別を徹底し最終処分量を削減した。

最終処分 目標値 2.1 ton

第 17 年次 実績 1.4 ton

3. 可燃ごみの削減

目標値 0.27 ton

第 17 年次実績 0.28 ton

目標は達成できませんでした

分別による古紙リサイクル化

段ボールリサイクル・機密書類の溶解リサイクル・上質紙(コピー紙)裏紙使用などをすすめた。

4. 化学物質（薬品等）の使用量削減

目標値 56.5 kg
第 17 年次実績 53.0 kg 目標値達成できた

5. 水使用量の削減

目標は達成できませんでした

上水道の節水呼び掛け 目標値 30 m³ 第 17 年次実績 35.0m³
事業の生産活動には水を使用しないので、生活用水の節水を呼び掛けた。
年初に理由のわからない出水があつて、実績値が大きくなった。

6. 環境意識の向上

年間を通じて事業用地内の美化・緑化・飾花活動を推進した。

環境管理委員会を年間 11 回開催した。

議事録は別紙参照

月毎の環境活動の進捗状況を確認して修正しました。

活動の問題点を提案。月毎の活動スローガンを掲出して全員活動を実施しました。

全員で敷地内の除草・清掃活動を年間 2 回実施した。

別紙記録参照

地震避難訓練を 1 回実施した。

別紙記録参照

全員を対象に講習会を実施。環境活動と含有化学物質管理について。 レジューメ別紙参照

安全装置確認活動を 1 回実施した

エアコン簡易点検を 2 回実施した

消火器点検を 1 回実施した

7. 環境関連法規への違反・訴訟はありません。

次年度（第 18 年次）の環境経営活動の目標値

二酸化炭素排出量	基準年度比	40%削減	目標値：43,000 kg-CO ₂
プラスチック排出物最終処分量	基準年度比	10%削減	目標値：2.2ton
可燃ごみ排出量	基準年度比	25%削減	目標値：0.3ton
化学物質（薬品等）使用量	基準年度比	55%削減	目標値：55.0 kg
水使用量（上水道）			目標値：30 m ³

代表者による環境経営活動の実績に対する評価・指示

第 17 年次

活動の期間 2023 年 4 月 21 日～2024 年 4 月 20

1. 二酸化炭素排出量の削減 目標値はクリア出来ない

二酸化炭素排出量を月次管理するために、その大部分を占める使用電力量を基本に行ったことは、合理的で現状を把握し易い良い方法であったと評価しています。CO₂ 排出量削減については節電対応報告書とこれを活用した作業手順書に基づく生産作業により、大幅に節電が出来ているものと評価している。エアコンを使う季節は冷暖時とも適正室温を設定して、各作業室毎に寒暖計を置いて、担当が巡回管理して記録でき、抑止効果が有りました。営業車を新型に入れ替えたことも、結果には効果があったと評価します。目標値がクリア出来なかった理由は、中電が排出係数を 0.388 だとしていたのに、0.459 で集計した結果です。毎月々二酸化炭素の排出の目安とした消費電力量は 77.000kwh に対して実績値は 74.577kwh でしたので、目標はクリアできたと考えます。

評価基準値 39.000 kg-CO₂ 排出実績 40.235 kg-CO₂

2. プラスチック最終処分量の削減 目標値はクリア出来た

端材の分別と RPF・リサイクルにより、リサイクルを優先することで最終処分量を減らす努力をしました。

評価基準値 2.1ton 排出実績 1.4ton

3. 可燃ごみの削減 目標値はクリア出来ないが誤差の範囲。

分別による古紙のリサイクル化
ダンボール・機密書類の溶解リサイクル・上質紙（コピー紙）の裏紙利用などで焼却に回らずに済んでいる。

評価基準値 0.27ton 排出実績 0.28ton

4. 化学物質（薬品等）の使用量削減 目標値はクリア出来た

耐電防止剤はウエスにつけて樹脂の表面に塗布します。その他の薬品は注射器で微量ずつ樹脂の接着剤として使用するケースが圧倒的に多いので、これ以上極端な減量は期待できません。従来のように在庫量の適正管理と万一の転倒事故による漏れなどの予防に努めます。

評価基準値 56.5 kg 排出実績 53.0 kg

5. 環境意識の向上推進

年間を通じて環境整美活動を実施した。

ながの緑育協会評議員、長野市緑を豊かにする委員会委員長、長野市緑と花
いっばいの会会長など、長野市の緑化環境に携わってきたので、会社敷地内
にもできるだけ緑化・飾花活動をしている。

環境関連の地域活動はこの地域にまだその機会が無いため実施できません。
何か、そのような機会があれば参加して意識の向上を図りたいと考えます。
その他の詳細は取組結果と評価のところで、記述します。

6. 環境関連法規の遵守

当社の企業活動に伴い適用される環境関連法は下記の通りです。

浄化槽法

労働安全衛生法

廃棄物処理法

騒音規制法

消防法

フロン排出抑制法

環境関連法規は当該期間を通じて遵守出来ました。

万一に備えて、苦情等の受付書も用意していましたが、
外部からの環境に関する苦情や要望はありません。

コンプレッサーと真空ポンプの騒音については日常的に気を配っている。真
空ポンプの音が少し変わったのに気付いたので、オーバーホールをした。3
0万円弱かかったが、正常な音に戻っている。

7. 意識を統合した活動

環境管理委員会を毎月定期的（年間11回）に開催することが出来、担当者の
意識統合と各月の反省機会になり、効果的であったと考えています。

意識感覚を全員が共有するために、活動がマンネリ化しないために、活動の
月次スローガンを掲出した。

私はこの結果に基づき、環境経営方針・環境経営目標・環境経営活動計画および
環境経営システム等について、変更に必要な具体的な指示を環境管理責任者およ
び関係者に行います。今後も社内外の協力を得ながら環境活動を改善し、進めて
参ります。

2024年4月26日

株式会社 ショーデン

代表取締役 浅野盛男

